

旭川市立広陵中学校 学力向上に向けた改善プラン

学校の教育目標

夢と潤いのある学校	
1 深く広く考える生徒	【知性】
2 やさしく思いやりのある生徒	【徳性】
3 ねばり強くやりぬく生徒	【意志】
4 明るくすこやかな生徒	【体力】

本年度の重点目標

学校・地域・家庭が協働し、
知恵と勇気と優しさに満ちたあふれた学校経営の推進
～自己を律し、主体的に活動し、意欲的に学ぶ、心豊かな生徒の育成～

成果と課題

▽令和3年度の全国学力・学習状況調査から

- 国語
 - <成果>
 - ・話し合いの話題や方向を捉える【話すこと・聞くこと】
 - ・質問の意図を捉える【話すこと・聞くこと】
 - ・文脈に即して漢字を正しく読む【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
 - <課題>
 - ・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える【書くこと】
 - ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ【読むこと】
 - ・相手や場に応じて敬語を適切に使う【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
- 数学
 - <成果>
 - ・与えられたデータから中央値を求めることができる【資料の活用】
 - ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる【関数】
 - <課題>
 - ・数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる【数と式】
 - ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる【資料の活用】
 - ・ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる【図形】
- 生徒質問紙
 - <肯定的な回答の割合が高い設問>
 - ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
 - ・ 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができているですか
 - ・ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
 - ・ 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
 - ・ 国語の勉強は大切だと思いますか
 - ・ 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか
 - <肯定的な回答の割合が低い設問>
 - ・ これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか
 - ・ 新聞を読んでいますか
 - ・ 今住んでいる地域の行事に参加していますか
 - ・ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

- <その他>
 - ・ 平日に2時間以上勉強する→31.3%
 - ・ 土日に2時間以上勉強する→35.1%
 - ・ 平日にICT機器を勉強のために1時間以上使用する→15.4%
 - ・ 平日に2時間以上テレビゲーム、携帯電話やスマートフォンを使用する→79.4%
 - ・ 平日に30分以上読書する→28.2%

▽令和3年度の学校評価(前期)から

- 学校の授業はわかりやすい→91% (目標: 95%【生徒】)
- 将来の夢や希望がある→65% (目標: 85%)
- 学力向上のためにきめの細かい指導を行った→79% (目標: 95%【保護者】)
- 夢や希望を育む教育活動を行っている→57% (目標: 85%【保護者】)
- 年度の研究重点を意識した授業改善→94% (目標: 100%【教職員】)
- 探究型の体験学習の充実→96% (目標: 100%【教職員】)



短・中長期的な取組の視点

<短期的な視点～令和4年度全国学力・学習状況調査に向けて～>

- 学力向上の取組を継続強化
 - ・ 家庭学習の習慣化
 - ・ LSプランチェックシートの活用
 - ・ 教科相談、長期休業中や放課後を活用した補足的な学習を用いた指導体制の充実
 - ・ 全国学力・学習状況調査結果から、「書く」「説明する」を意識した授業改善

<中長期的な視点>

- 確かな学力と学習意欲の向上を図る学習指導
- 「読む・聞く→考える→話す・書く」力を高める授業改善



具体的な改善方策

1 学びを深める授業づくり

- 全国学力学習状況調査結果等の活用 (分析と改善策)
- 「課題・見直し」「まとめ・振り返り」を明確にした授業の実施
- 「読む・聞く→考える→話す・書く」活動を取り入れた授業の実施
- 1人1台端末の活用 (一斉学習、個別学習、協働学習等)

- 問題解決的な学習を基盤とした学習意欲を高める工夫
- 「わかった」「できた」を実感させる授業の実施
- 「定着問題」「宿題」などを位置づけた授業の実施
- T T や少人数指導を有効に活用した指導の工夫・改善

2 落ち着いた学級づくり

- 学習・生活規律の徹底
- 教育相談の充実
- いじめ防止やアウトメディアの取組の充実

- 各種行事の取組 (絆づくり)
- 読書活動の推進

3 望ましい学習習慣づくり

- 「家庭学習の手引き」「小中連携家庭学習のめやす」を活用し、家庭と連携した学習習慣づくり
- 長期休業中や放課後を活用した補足的な学習の継続
- 各学年における家庭学習時間増加のための工夫

- 「小中連携アウトメディアガイドライン」を活用し、家庭と連携した生活習慣づくり
- LSプランチェックシートの取組から規則正しい生活へ向けた家庭との連携
- 外部講師の活用 (大学生や地域の元教師を活用した放課後学習会)



今年度の目標

1 全国学力・学習状況調査に対する達成目標

- 国語、数学において、課題のある領域を克服させる。また、自分の考えを書いたり、話したりして説明(表現)できるようにする。

2 学校評価に対する到達目標

- 学校の授業はわかりやすい→目標: 95%【生徒】 (R2は89%)
- 将来の夢や希望がある→目標: 85%【生徒】 (新規)
- 学力向上のためにきめの細かい指導を行った→目標: 95%【保護者】 (R2は89%)
- 夢や希望を育む教育活動を行っている→目標: 85%【保護者】 (新規)
- 年度の研究重点を意識した授業改善→目標: 100%【教職員】 (新規)
- 探究型の体験学習の充実→目標: 100%【教職員】 (新規)